

高齢者・障害者の人権を守れ

大川 真理(共産)

【質問】 支援費制度について、自己選択・自己決定だけが強調されているが、自治体の責任は大きい。申請状況 自己負担増について。
【答弁】 10月から3プロックに分けて申請を開始している。自己負担は応能負担となっている。

国保料値上げなど 負担増計画を中止せよ

高梨 功(共産)

【質問】 市立デイサービスは、市が事業者となり、利用者の継続利用を保障せよ。
【答弁】 現行サービスを支援費制度に移行させるだけ。
【質問】 介護保険について、保険料の見直しは、品川区のように基金を使い据え置きを。
【答弁】 保険料を5段階から6段階にすることを検討中。
【質問】 保険料・利用料の減免は市長のやる気にかかっている。



上向台地区会館 (向台町6丁目)

大気汚染裁判勝利 調布保谷線の見直しを

保谷 清子(共産)

【質問】 はなバスの東伏見駅での乗り換えは、待ち時間も長く、お年寄りや障害者の負担が大きい。改善を。
【市長】 利用者の要望に沿えるよう検討する。
【質問】 36m幅道路(調布保谷線)について、「外環の完

成を前提にした環境影響評価のやり直しを求める陳情」が採択されたが、市は都へ働きかけをしたのか。
【市長】 平成22年に外環が完成すると考えるか。
【市長】 していない。予定どおり完成するものと考えている。

小学校低学年まで 医療費無料化の拡充を

葉原 時美(共産)

【質問】 今、深刻な不況のときだから、市長は市民の味方になることが大それた。子育て支援として、乳幼児医療費の所得制限を廃止せよ。
【市長】 来年度に3歳未満について、所得制限をなくし



住吉福祉会館・公民館 (住吉町6丁目)



あらやしき公園駐輪場 (下保谷4丁目)

【質問】 36m幅道路は、ゆずりは作業所など福祉施設や教育施設に深刻な影響を与える。排気ガス、騒音、振動などの対策、施設利用者のアクセスについてどう考えているのか。
【市長】 今後検討する。
【質問】 東京大気汚染公害裁判の判決は、経済活動等の公共的利益のために周辺住民に対して犠牲を強い

【市長】 今後検討する。
【市長】 多摩地区で見直しを検討している市もある。引き続き他市の動向を見守りたい。

IT時代に合った施設を目指せ!

石毛 茂(民主)

【質問】 私たちの生活に欠かせない存在に自動車があるが、他方大気汚染の問題も同時に発生させている。その大きな原因はディーゼル車の排出ガスに含まれる粒子状物質である。これは呼吸器疾患を招くとともに発がん性、花粉症などに関係があると言われている。都は来年10月から規制するが補助等どうなっているか。
【答弁】 都では、買いかえ対策装置に対し、融資あつせん、補助を行う。
【質問】 軽量のノートパソコンの普及に伴い、ほとんどの公立図書館にパソコンを持ち込めるようになった。しかし、いざ使用するとき、電源が使用できないところが多い。西東京市の図書館でも同じ状態である。ノートパソコンを1時間動かすのにかかる電気代は、最大でも1円15円程度である。「IT都市」を目指す市ではどのように考えるか。
【答弁】 今後、改築、改修等のときにそうした施設整備を検討していきたい。
【質問】 ひばりヶ丘駅南口周辺が現在建築ラッシュである。



用語の解説

シックハウス症候群
住宅建材に含まれる揮発性の化学物質が原因で、頭痛やめまい、目がチカチカするなどの体調不良を引き起こすことをいう。
支援費制度
障害者福祉サービスについて、行政がサービス内容やサービス事業者を決定し、提供する現在の措置制度にかわり、平成15年4月から、利用者がみずからサービスを選択し、事業者と契約を結んでサービスを利用する仕組み。サービス利用に係る費用の一定部分を市が「支援費」として支払う。



利用者用検索機 (中央図書館)

【市長】 田無庁舎の駐車場は不足している。また、駐輪場を休日に閉鎖しているのは整合性がとれていない。検討せよ。

1カ月単位で払っている 職員の定期券代

一木 孝之(民主)

【質問】 補正予算審査の中で明らかにしたが、1カ月定期券を6カ月定期券に切りかえれば、年間580万円の経費削減が可能である。「田無・保谷の2庁舎体制であることから、人事異動に伴う払い戻し費用の負担や単年度会計であることも考え、削減効果が大いとは言えない」との答弁をしているが、例えば清掃業務従事者の異動はどのくらいの比率なのか。
【総務部長】 清掃の職員は、両庁舎間での異動はない。
【市長】 多摩地区で見直しを検討している市もある。引き続き他市の動向を見守りたい。

【市長】 田無庁舎の駐車場は不足している。また、駐輪場を休日に閉鎖しているのは整合性がとれていない。検討せよ。